



平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 クリエイトメディック株式会社
 コード番号 5187 URL <http://www.createmedic.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 佐藤 正浩
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総合企画部長 (氏名) 橋井 敦

TEL 045-943-2611

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	7,012	8.2	479	22.4	506	31.4	285	45.2
24年12月期第3四半期	6,478	△0.3	391	△24.9	385	△19.4	196	△40.5

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 717百万円 (274.3%) 24年12月期第3四半期 191百万円 (△29.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	29.66	—
24年12月期第3四半期	20.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第3四半期	16,812	11,857	70.5	1,233.05
24年12月期	16,501	11,467	69.5	1,192.47

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 11,857百万円 24年12月期 11,467百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	15.00	—	18.00	33.00
25年12月期	—	16.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	19.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,600	2.9	862	16.5	858	△6.6	555	8.3	57.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 P. 3 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期3Q	9,664,327 株	24年12月期	9,664,327 株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	47,847 株	24年12月期	47,607 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期3Q	9,616,598 株	24年12月期3Q	9,616,735 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8
(5) セグメント情報等	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による大胆な財政・金融政策などを背景にして、円安・株高が進み輸出の増加、企業業績の回復、個人消費動向の改善など景気回復に向けて明るい兆しが見えてまいりました。

当医療機器業界におきましては、医療費抑制を背景にした価格競争は恒常的であり、業界をとりまく環境は依然として厳しい状態が続いております。

このような経営環境の中、当社グループは、国内販売においては自社ブランド品の販売強化とOEM事業の新規受注増加を図る一方、海外販売では好調な中国での販売拡大に注力いたしました。また、利益面については販売管理費の抑制や海外工場での部資材内製化による原価低減にも努めてまいりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上・利益は、前年同期と比較して増収増益となりました。

次に売上の概況を販売形態別に報告いたします。

< 自社販売 >

自社販売では血管系製品は減少しましたが、泌尿器系製品等その他の系統別製品が売り上げを伸ばした結果、4,657百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

系統別の内訳では、泌尿器系はフォーリートレイキットを含むフォーリーカテーテル、腎盂バルーン、セフティカテ（自己導尿カテーテル）、採尿バッグ等ほぼ全製品で数量を伸ばしました。

消化器系では、胃瘻関連は一部の新製品を除き全般的に伸び悩みましたが、イレウスチューブは関連製品を含め数量は順調に増加しました。

外科系では内視鏡下手術関連製品、内瘻用カテーテル、気管切開チューブが引き続き順調に増加しました。

血管系ではマイクロカテーテルなど全般的に数量が減少しました。

看護・検査系他ではドレープ系製品が減少しましたが、検査用チューブや組織採取用の製品が順調に増加しました。

< OEM販売 >

OEM販売では麻酔関連製品が減少しましたが、血管造影関連製品の受注増加や大腸がん3D-CT検査関連製品の新規生産などにより1,287百万円（前年同期比7.7%増）となりました。

< 海外販売等 >

海外販売等ですが、欧州では前年の在庫調整の反動で泌尿器系製品が大きく増加しました。また、中国での販売は全般的に好調でしたが、特にマイクロカテーテルや泌尿器系製品を中心に大きく伸ばしました。その結果、海外販売等の売上は1,067百万円（前年同期比52.0%増）となりました。

また、当第3四半期連結累計期間の製品系統別の売上高は次の通りです。

泌尿器系製品の合計は	1,977百万円（前年同期比15.0%増）となりました。
消化器系製品の合計は	2,334百万円（前年同期比4.8%増）となりました。
外科系製品の合計は	798百万円（前年同期比0.4%減）となりました。
血管系製品の合計は	1,223百万円（前年同期比4.5%増）となりました。
看護・検査系他製品の合計は	678百万円（前年同期比21.8%増）となりました。

利益は大きく増加いたしました。これは自社販売、OEM販売、中国での販売が大きく伸びたこと、販売管理費の抑制と部材内製化による原価低減の寄与、及び円安の影響によるものでございます。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高7,012百万円（前年同期比8.2%増）、売上総利益3,110百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益479百万円（前年同期比22.4%増）、経常利益506百万円（前年同期比31.4%増）、四半期純利益285百万円（前年同期比45.2%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して311百万円増加し16,812百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金の減少394百万円に対して、有価証券の増加400百万円、商品及び製品の増加225百万円、ベトナムクリエートメディック有限会社の製造設備の取得による機械装置及び運搬具の増加316百万円が主な要因です。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して78百万円減少し4,954百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金の減少258百万円に対して、1年内返済予定の長期借入金の増加108百万円、賞与引当金の増加103百万円が主な要因です。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して389百万円増加し11,857百万円となりました。これは、配当による利益剰余金の減少326百万円に対して、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加285百万円や為替換算調整勘定の増加394百万円が主な要因です。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては平成25年2月12日の「平成24年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(有形固定資産の減価償却方法の変更及び耐用年数の見直し)

当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間より有形固定資産の減価償却方法を定額法へ変更しております。

当社グループのグローバル展開の進展を契機に、国内生産設備の稼働状況や今後の見通しについて検討した結果、長期的且つ安定的に稼働し、収益獲得に貢献することが見込まれることから、減価償却方法についてグループの会計方針を統一し、定額法を採用することが適切であると判断いたしました。

また、当社の保有する有形固定資産について使用実態等の調査、検討を行った結果、第1四半期連結会計期間より一部の耐用年数を見直しております。

以上の変更により従来の方と比べて当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ24,398千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,826,337	2,812,924
受取手形及び売掛金	3,503,807	3,109,292
有価証券	709,925	1,110,014
商品及び製品	1,559,006	1,784,786
仕掛品	574,165	623,211
原材料及び貯蔵品	552,251	654,228
繰延税金資産	113,310	159,478
その他	156,462	179,803
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	9,994,266	10,432,739
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,092,423	2,191,074
機械装置及び運搬具（純額）	422,503	739,061
土地	1,485,088	1,485,088
リース資産（純額）	40,720	26,342
建設仮勘定	232,751	30,304
その他（純額）	128,117	148,084
有形固定資産合計	4,401,605	4,619,955
無形固定資産		
借地権	148,270	165,199
その他	28,000	24,670
無形固定資産合計	176,271	189,869
投資その他の資産		
投資有価証券	1,439,700	1,098,946
繰延税金資産	350,790	373,387
その他	138,386	97,407
投資その他の資産合計	1,928,876	1,569,741
固定資産合計	6,506,753	6,379,567
資産合計	16,501,019	16,812,306

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,036,583	778,105
短期借入金	1,045,000	1,045,000
1年内返済予定の長期借入金	86,580	195,500
リース債務	19,206	17,052
未払法人税等	109,282	127,913
賞与引当金	30,803	133,828
役員賞与引当金	12,400	9,300
その他	481,062	425,989
流動負債合計	2,820,917	2,732,689
固定負債		
長期借入金	979,220	933,125
リース債務	23,550	10,607
長期未払金	—	9,175
退職給付引当金	1,022,074	1,068,270
役員退職慰労引当金	184,659	197,820
資産除去債務	2,982	3,031
固定負債合計	2,212,487	2,222,029
負債合計	5,033,404	4,954,719
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,461,735	1,461,735
資本剰余金	1,486,022	1,486,022
利益剰余金	8,527,011	8,485,303
自己株式	△34,381	△34,581
株主資本合計	11,440,387	11,398,480
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,274	57,077
為替換算調整勘定	7,952	402,030
その他の包括利益累計額合計	27,227	459,107
純資産合計	11,467,615	11,857,587
負債純資産合計	16,501,019	16,812,306

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	6,478,824	7,012,652
売上原価	3,465,775	3,901,900
売上総利益	3,013,048	3,110,752
販売費及び一般管理費	2,621,391	2,631,353
営業利益	391,656	479,398
営業外収益		
受取利息	7,321	10,277
受取配当金	1,943	2,273
為替差益	—	11,728
保険金収入	31,949	—
その他	16,642	20,147
営業外収益合計	57,857	44,426
営業外費用		
支払利息	13,369	11,461
手形売却損	150	—
為替差損	45,214	—
金利スワップ評価損	1,138	—
その他	4,339	6,240
営業外費用合計	64,212	17,701
経常利益	385,301	506,124
特別損失		
関係会社出資金評価損	—	51,783
特別損失合計	—	51,783
税金等調整前四半期純利益	385,301	454,340
法人税、住民税及び事業税	218,987	258,441
法人税等調整額	△30,187	△89,360
法人税等合計	188,800	169,081
少数株主損益調整前四半期純利益	196,501	285,258
四半期純利益	196,501	285,258

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	196,501	285,258
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△578	37,802
為替換算調整勘定	△4,343	394,077
その他の包括利益合計	△4,922	431,880
四半期包括利益	191,579	717,139
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	191,579	717,139
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社グループはディスポーザブルカテーテル・チューブの製造・販売を主な事業とした単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。